

梅乃橋

現在の石橋は一七六八年に天満大丁目の
長瀬屋五兵衛が奉納した。かつて高津宮
一帯は梅の名所であり橋名の由来となった。
橋の下には梅川が流れていて「新陰奇観」
（江戸時代）では、奥から西に流れる梅川を
振り広げたのが道標橋とする「梅川道標橋
上流説」を紹介している。

飯野
恵以子